

一人は万人のために
万人は一人のために

3月15日現在
組合員数 41,489人
出資金 14億282万円

からだをくらし

発行所
 **広島医療生活協同組合**
〒731-0121 広島市安佐南区中須二丁目19-6
TEL (082) 879-8124 FAX (082) 879-8182
機関紙編集委員会
ホームページ www.hiroshimairyu.coop
健康まちづくりセンターEメール
kenmati@hiroshimairyu.or.jp



一日でも長く 住み慣れた自宅で

デイサービスセンター「ひまわり」

広島医療生活協には、三つのデイサービスがあります。今回は安佐南区西原にある、デイサービスセンター「ひまわり」を紹介します

「ひまわり」では、「身体的にも精神的にも健康を維持し、住み慣れた場所で長く暮らしていけるよう支援すること」を目標としています。

安心して過ごせるように

体験利用の際には、事前訪問を必ず行っています。体験利用当日に出勤する職員が事前に伺い、知り合いをつくっておくことで、安心できるようにしています。初めての場所や人には誰でも緊張しますよね。できる限り複数回、事前に顔を合わせるようにしています。また、毎日席を配置替えし、みなさんが楽しく過ごせるように、工夫しています。

お一人お一人の思いを尊重して

「自由に」をモットーに、一人一人の時間の使い方を自由に選択してもらっています。全利用者さんの希望や状態に合わせた目標と計画を考え、サービスを提供しています。

日頃できない体験を「グルメデー」

ドキドキ、ワクワクすることも大切に行っています。個別の運動や機能訓練を行っています。身体のためには、心が元気で、安定していることも欠かせません。当デイサービスでは、月に一度、グルメデーというイベントを行っています。プロの料理人による、本格的な蕎麦打ち実演やブリの解体ショーなど、圧巻のパフォーマンスもあり、毎回大好評です。



ご利用者様が、一日でも長く、そして自分らしく、家で過ごすことができるよう、これからも職員一同、心を込めて支えていきます。



※デイサービスは、利用者の心身機能の維持向上や日常生活の援助、家族の介護負担を軽減することが大きな目的のサービスです。主なサービス内容としては、入浴、機能訓練、他者との交流支援、食事、健康チェック、送迎、その他に排泄介助等、生活に必要な介助になります。デイサービスを利用できるのは、要支援1〜要介護5の方が対象となります。

虹の旗

人間に値する生活とは何か。人間はどういうものなのか。朝日茂さんが起こした裁判は、それを明らかにするものとして「人間裁判」とよばれました。朝日茂さんは「生活保護基準のあまりの低さ、とうてい人間生活として耐えられない低さ。生存権を保証する憲法二十五条に違反する。『健康で文化的な』とは決してたんなる修飾ではなく、その概念にふさわしい内実を有するものでなければならぬ」と提訴しました。六十四年前のことです。朝日さんの遺志を受け継ぎ全国の生活保護利用者が、保護費削減は違憲、違法だとして国を相手に提訴。全国で横浜地裁をはじめ十六件勝訴しています。広島も昨年十月の判決で勝訴しました。このことは生活保護利用者だけのことではなく私たち国民の権利だと思えるには私は時間がかかりました。「権利はたたかう者の手にある」と朝日茂さんの言葉を胸に人権思想が自分の生き方にすこし根づいたかな。(E・S)



研修医
レポート

自己紹介、ぶらり一人旅

広島共立病院 初期研修医 佐藤 友美



皆様初めまして、
研修医一年目の佐藤
友美と申します。二〇
二三年四月より広島
共立病院で働き始め
ました。簡単に自己
紹介をさせていただきます。
生まれも育ちも広島

で、広島なぎさ中学・
高校でのんびりと
過ごし、九州の産業医
科大学を卒業しまし
た。産業医科大学は
どこに？とよく聞か
れるのですが、小倉の
すぐ近くの北九州市
にあります。



趣味はゲームとス
キーと一人旅です。一
人旅では、特に計画も
立てず思いつきのま
まぶらりぶらりと旅
をするのが醍醐味です。
お酒が飲めないのに、
酒場へ行って地元の方
と喋ったりします。他
にも、お城をぶらり
と見に行ったり、その
土地のスーパや農協
に行ってみて地元の名
産品を探すのもとて
も楽しいです。



これまで訪れた所は函
館や盛岡、名古屋や高
知などです。コロナ禍
は旅に行けなかった
ので、最近自宅での
んびりとゲームをし
て過ごしていました。
研修医一年目も終
わり、二年目へと突入
します。医師としては
まだまだ未熟でござ
います。温かな目で見
守っていただけたら
と思います。

看護師
レポート

感染対策の基本

広島共立病院 感染管理認定看護師 山下 典恵

二〇二四年二月二
十七日に中筋福祉会
館にて開催された「わ
いわい講座」で講師と
して感染対策の話を
させていただきました。
内容としては、安佐地
区の感染症情報(感染
者数や感染症)を基に
各感染症の原因菌・症
状・感染経路・感染対
策の方法などの話を
しました。主な感染症
は新型コロナウイルス
感染症、インフルエ

ンザ、感染性胃腸炎、
咽頭結膜炎、A群溶血
性レンサ球菌咽頭炎
についてです。流行中
の感染症でもあり皆
さんしっかりと聞いて
くださり、質問もし
ていただきました。マ
スク装着、環境をきれ
いにするのも大切な
ことですが、感染対
策の基本は手を綺麗
にすることです。何か
作業をするときには
皆さん手を使用し行

うと思います。そのた
めその手が一番汚れ
ています。手をきれいに
することが自分の
身体を守るうえで大
切になります。いつも
きれいな手でいられ
るよう手指衛生を心
がけていきましょう。



3月 理事会だより

(3月16日 開催)

1. 学習パンフ「にじのかけはし」でLGBTQ・性的マイノリティの学習を進めていることが報告されました。
2. 東広島市八本松町の地下水から基準の300倍を超える有機フッ素化合物が検出されたことや、全国の米軍基地周辺でPFASが問題となっていることが報告されました。
3. 6月の第65回通常総代会に「2023年度のまとめと2024年度方針」など6つの議案を提案することと、現時点での1号議案について修正点を確認し可決しました。
4. 直近の組合員活動について、沼田地域の公民館まつりへの参加などが報告されました。組合員増やしは1449人、出資金増資は9,582万円まで到達し前年同期を上回っていますが、年度合計の減資額が増えており、年度末まで取り組みを強めていくことを確認しました。
長期にわたり所在不明の308人の組合員について、年度末に「みなし自由脱退」処理を行うことを承認しました。
5. 2024年度予算の到達を確認し、2024年診療報酬介護報酬同時改定の影響を踏まえ、4月上旬に第3次予算集約を行うことを確認しました。
6. 労働組合と春闘の団体交渉を行った旨報告があり、4月中旬以降に第2次回答を行うことを確認しました。
7. 医師国家試験の結果、2名の初期研修医を迎えることが報告されました。

〈わたしたちを取り巻く情勢〉

安心安全なくらしを守る

2024年元日に発生した能登半島地震で「震災」というべき深刻な被害が発生、道路の寸断などもあって多数の被災者の悲惨な状況が続きました。広島医療生協でも災害救援募金や現地支援に4名がJMAT派遣として参加しました。2020年以降、猛威をふるう新型コロナウイルス感染症は、2023年5月に感染症法上の区分が2類から5類に引き下げられたものの、インフルエンザ感染の増加など、複数の感染症も同時流行するようになり、予断を許さない状況が続いています。上安産業廃棄物最終処分場に隣接する不適切な盛り土の上に産廃拡張が認可されていますが、10年前安佐南区でも発生した大規模な土石流災害のような豪雨で、盛り土が土石流災害につながることを不安を訴える住民の声が上がりました。マスコミにも取り上げられた結果、この盛り土について2023年秋から広島県による安全性確認のボーリング調査が行われました。

このような状況の中で私たちが、地域で医療生協の魅力や価値を大いに発信し、協同を広げて、みんなの願いを実現する事業と運動を進め、「健康づくり」「まちづくり」に積極的に取り組んでいくことには大きな意義があります。



日本医師会災害医療チーム〈JMAT〉

〈2023年度のまとめ〉

医療福祉生協の地域包括ケアの実現

組合員（患者・利用者）が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、生協内の事業と活動の連携と共に健康づくり・仲間づくりの拠点としてのサロン、困りごとへの支援、子育て支援等の取り組みを行政・社協・生協ひろしま等と連携して進めました。

協同組合間共同・連携

県内4生協（生協ひろしま・広島中央保健生協・福山医療生協・広島医療生協）の福祉・介護事業の経営改善・介護の質向上・人材確保育成を前進させるために、広島県生協連に連携事務局を専従配置（広島医療生協から出向）し、「10の基本ケア」について実践交流会を共同開催し、ならこープを母体とした社会福祉法人協同福祉会からフォローアップコンサルティングを受けました。

「いのちの章典」を実践する人づくり

5期目となる生協学校を開校し、13名が卒業しました。組合員と職員が共に学ぶことで、支部や職場の取り組みを理解し合い、自分たちの活動に新たなヒントを得ることのできる場となりました。

健康づくり

「けんこうチャレンジ2023」は、県内3つの医療福祉生協や広島県農業協同組合中央会（JA）、生協ひろしま等の共催で、広島医療生協は昨年比92.0%の1,007名（報告カード提出者数）の実施となりました。親子で共通のチャレンジ項目に挑戦する「親子チャレンジ」を引き続き呼びかけました。また、春・秋のウォーキング共に安佐南区・安佐北区の保健師が参加し組合員と交流しました。

患者・利用者のニーズに応えた医療福祉活動

新型コロナウイルス対策は、5月以降5類相当の対応となったため、発熱外来は院内の内科外来と北エントランス前の待機室での診療に戻す運用としました。診療所ではワクチン接種に取り組んでいます。2021年10月から始めた「黒い雨プロジェクト」の被爆者健康手帳の申請を行う相談会は、2023年度、5回の相談会に61名の方が参加されました。これまで計20回、参加総数259名の相談を受けています。相談会に来られ申請された多くの被害者の方から、手帳が交付されたとの謝辞を頂いています。



第64回通常総代会

経営の安定をめざして

1月末現在、経常剰余5,226万円の赤字となり、予算を1億5,886万円下回っています。新型コロナ5類引き下げ後も複数の事業所でクラスターが発生したほか、外来患者数が大きく計画を下回っています。収益未達、費用超過の構造を何としても転換していかねばなりません。

2023年度損益計算書

単位:千円

	実績	予算	予算差	前年実績	前年差
事業収益	5,181,887	5,334,043	-152,157	5,117,455	64,432
事業費用	5,255,178	5,220,844	34,334	5,183,251	71,927
(人件費)	3,376,533	3,337,965	38,568	3,307,870	68,663
(減価償却費)	255,501	238,281	17,221	245,494	10,007
事業利益	-73,292	113,199	-186,491	-65,796	-7,495
経常利益	-52,264	106,591	-158,855	43,355	-95,619

(2024年1月末現在)

(2) 診療所の活動・訪問系介護事業の活動

- コープ共立歯科は、経営の基盤である外来診療の内容の充実を計るとともに選ばれる訪問診療を目指し、保険・介護の両面で信頼される歯科診療を行います。そのためにも人材育成に努めていきます。また衛生士、看護助手（サプライ）の補充を行い診療体制を整えます。
- 沼田診療所は、診療・保健予防活動・通所介護を3本柱として事業展開を継続していきます。
- 津田診療所は、所長交代の節目の年度となります。これまでの活動の延長線上ではなく、地域にどのように関わるのか、貢献するのか。ビジョンと基本方針の再構築を行います。
- あすなる生協診療所継続にむけて、診療所勤務可能な医師を含めて必要な人材を確保していきます。
- 広島医療生協の介護は在宅サービスの展開を行っています。利用者が住み慣れた地域で1日でも長く過ごせることを目指すためにも、状態に応じて事業所間が連動できる仕組みの構築を行います。

(3) 被ばく者医療・被ばく者支援

- 「黒い雨プロジェクト」を継続し、地域組合員や地域の団体と連帯して被爆者支援を行います。
- 各種訴訟の支援を、広島民医連の取り組みに参加し協力しながら行います。

(4) 子どもへの支援

- 集団の中で一人ひとりが大切にされ、仲間と共に考え、力を合わせあそび・生活全体を自分たちで作り、心が満たされ互いを認め合い育ち合うことを大切にしています。『あ～保育園楽しかった!明日も保育園行きたいな～!』と子どもも職員も思える保育園を目指していきます。

(5) 組合員の事業参加

- 理事会事業所利用委員会は、各事業所の活動の交流を行い、利用しやすくかかりやすい事業所になるよう意見交換を行います。また、専門職との懇談を計画します。
- 「病院・診療所におけるボランティア養成講座」「緩和ケアボランティア養成講座」などの養成講座や、ボランティアを対象とした学習会を開催します。

7. 平和の活動と社会保障の充実

～被爆地ヒロシマから、

核兵器廃絶に向けて運動を推進し、人間らしい生活の保障と平和で公正な社会づくりをすすめます～

- 「原水爆禁止世界大会」および「ピースアクションinヒロシマ2024」への参加を通じて、全国の団体と連帯し、核兵器廃絶運動をすすめます。
- 「唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」に取り組みます。
- ロシアのウクライナへの軍事侵攻、イスラエルのパレスチナ・ガザ地区への軍事攻撃に関して、戦争反対のアピール行動に取り組みます。
- 高齢者の暮らしといのちを守るための運動に引き続き取り組みます。
- 高齢者の補聴器に関する助成事業のための運動を行います。
- 一支部一要求運動を通じて、誰もが健康で居心地よく暮らせるまちづくりを目指します。早急に対応すべきものは、支部と

自治会・町内会などと協力し直接交渉を行っていきます。

- 上安産業廃棄物最終処分場の問題について、危険性や問題点などを学習会や見学会などで学び、くらしを守るための取り組みを検討します。



一支部一要求運動（安佐南区懇談会）

8. 組織づくり

(1) 地域のつながりづくり

- 人が集まる場を増やし、ゆるやかなつながりから居心地よくくらするまちをつくります。フレイル予防やつながり維持ができるよう工夫していきます。
- 地域住民それぞれの要求を掘み、あらゆる世代において医療生協の活動を進めます。



支部長会議2023

(2) 生協を強くする活動

- 組合員ふやしは、2,000名を目標とします。
- 増資活動は、1億2,000万円を目標とします。
- 積立増資者の拡大を、増資活動の中心に据えます。10年後を見据えて「未来につなぐ増資」（銀行引き落とし）は、2,000件を目標に増やしていきます。
- 増資実人数は7,000名目標とします。
- 班会開催・班づくりは1,500回・31班を目標とします。

(3) 広島医療生協の活動を知らせる活動

- SNSで配信する情報の充実と、効果的な発信を目指します。

9. 経営・マネージメント

～マネージメント力を強め、必要利益を確保し、

経営の安定を図ります～

- 医療・介護・福祉の事業を継続し、地域のいのちとくらしを守るため、必要利益1億3,300万円を達成します。
- 地域と組合員の医療・介護・福祉に関わる要求に応え、「断らない」「待たせない」事業活動を推進します。
- ISO9001の仕組みを活用し、業務の改善を行い、事業の質の向上をはかります。

10. 専門職等の確保・養成

- 2025年度卒後臨床研修医は定員の3名を確保します。
- 診療所所長対策プロジェクトをすすめ、診療所勤務を希望する既卒医の確保に努力します。
- 各職種において実習の受け入れを行い、専門職育成に貢献します。
- 介護事業部管轄の部署の常勤職員を対象とした10の基本ケア学習会の開催を行います。



国民平和大行進

〈2024年度の方針〉

基本方針(品質方針)

1. 誰もが安心して住み続けられるまちづくりをめざして医療福祉生協の地域包括ケアを実現します。
2. 医療福祉介護の質の向上を追求し、患者・利用者の満足度を高めます。
3. 地域のニーズに応える医師をはじめとした専門職の確保をすすめ、理念を共有する組合員を育成します。
4. 様々な人びとと力を合わせ、権利としての社会保障と戦争をしない国を守り抜きます。

1. 医療福祉生協の地域包括ケアの実現

- 組合員(患者・利用者)を中心に生協のあらゆる事業・活動が垣根を超えて連携し、健康な時から人生の最期まで住み慣れた地域で安心して暮らせる、広島医療生協の地域包括ケアを実現します
- 地域のサロンや班などで、百歳体操や生協GENKI体操(生協ひろしまが広島大学と共同研究)や職員を講師とした様々な学習会を開催し、健康づくりの取組みを実施します。
- 日々の事業活動に加えて、学習会や委員会・会議といった様々な機会を通じて職員と組合員のつながりを強化し、くらしの不安があれば事業や活動につながる仕組みを強化します。
- 取組みを行政・地域包括支援センター・地区社協・町内会など他団体と連携し広げていきます。
- 安佐南区、安佐北区の生活支援体制整備区域協議体に継続して参加します。

2. 協同組合間共同・連携

- 県内どこの生協の事業所を組合員が利用しても同質のケアを受けることができ、生協間の事業連携を強化するために、共通の介護の指標となる10の基本ケアを各生協の現場で実践し、協同で教育・人材育成を進めます。

3. 「いのちの章典」を実践する人づくり

- 教育学習月間に全ての支部、職場が参加し、生活協同組合の理解を深める機会とします。
- 第6期生協学校を開催します。
- 医療福祉生協のとりくみそのものが「いのちの章典」の実践であるという認識を深め、地域組合員と職員組合員がともに学び、語り合い、交流する場を設けます。

4. 災害支援・災害対策の活動

- 災害訓練として、各事業所の中での動き、事業所共通の被害想定での事業継続の判断を行うことなどを検討課題として取り組めます。
- 感染症対策を継続します。
- 災害の被災者支援に協力します。

5. 健康づくり

- 「地域まるごと健康づくり」の運動を具体的に取り組みます。
- 「健康サポーター養成学校」の内容を充実させ、フレイル予防、オーラルフレイル予防といった項目を取り込むなど開催に向けて働きかけを強めていきます。
 - 「健康サポーター交流会」を発展させ、健康づくりに関心があ

- る方がどなたでも参加できる「健康づくり学習交流会」を開催します。健康サポーター養成学校修了生の活躍の場を広げます。
- 「けんこうチャレンジ」に取り組みます。長引くコロナ禍で健康不安が身近に起きている今こそ、健康づくりの課題が重要になっています。けんこうチャレンジの経年的な取り組みの習慣化と参加者の拡大を図ります。また、けんこうチャレンジと連動した生協独自の健康づくりの取り組みを発展させます。
 - 広島市健康福祉局や安佐南区、安佐北区と協力して健康づくり活動を行えるような懇談を進め、学習会を企画します。
 - 「フレイル予防」「オーラルフレイル予防」の普及のため、各支部と協力して取り組みます。
 - 「すこしお生活」に関心を持つきっかけとなる学習会を開催するなど宣伝方法を工夫し、すこしお生活の具体化を図ります。
 - 健診受診者数の拡大に取り組みます。大腸がん検診は支部目標の達成を追求して取り組みます。



秋の健康ウォーキング交流会

6. 医療福祉活動

(1) 病院機能向上

- 全日本民医連の医療・介護活動の新しい2つの柱、「①貧困と格差、超高齢社会に立ち向かう無差別平等の医療・介護の実践、②安全、倫理、共同のいとなみを軸とした総合的な医療・介護の質の向上」を実践します。広島共立病院は、急性期から回復期、すなわち病気を発症してから自宅に帰るまでの入院医療を担う地域の中核病院として機能を向上させます。急性期医療、リハビリテーション、緩和ケア、ヘルスプロモーションを医療の4本柱として重点をおいた取り組みを実践しています。そのための人材確保が重要課題です。また、大規模災害に備えて「災害拠点」としてDMAT隊員の拡充や訓練を重ねます。
- 地域包括ケアシステムの拠点病院としての位置づけと生活の継続を支援する病院としての視点を全職員が持ち、無差別・平等の地域包括ケアを実現するための連携をさらにすすめます。在宅医療分野では、地域開業医と連携をとりながら、病院近隣の訪問診療を行い、地域のニーズに引き続き応えていきます。また、安佐南区医師会の委託事業である在宅医療相談支援窓口事業を継続します。

広島医療生協の各診療案内 2024年4月～

広島共立病院

宍佐南区中須二丁目20-20 TEL:082-879-1111 FAX:082-879-1146
ホームページアドレス http://www.hiroshimairyu.or.jp メール kyoritsu@hiroshimairyu.or.jp

Main table listing medical departments (健診, 内科, 脳神経内科, 精神科, etc.) and their respective schedules and staff members.

津田診療所 宍佐北区可部二丁目13-22 TEL:082-812-2048

Table for 津田診療所 showing department (内科) and staff schedules.

沼田診療所 宍佐南区伴東七丁目38-10 TEL:082-848-4486

Table for 沼田診療所 showing department (内科) and staff schedules.

あすなろ生協診療所 宍佐北区口田一丁目10-1 TEL:082-845-5234

Table for あすなろ生協診療所 showing department (内科・小児科) and staff schedules.

コープ共立歯科 宍佐南区中須二丁目20-39 TEL:082-830-5181

Table for コープ共立歯科 showing department (歯科) and staff schedules.

広島共立病院 通院用 無料送迎バス時刻表

〈平日・土曜日ダイヤ〉

上安駅～大町駅～広島共立病院コース

Table showing bus routes and departure/arrival times for the Onmachi course.

※定員13名通勤バスでの運行となります。

〈平日ダイヤ〉

フジグラン緑井～広島共立病院コース

Table showing bus routes and departure/arrival times for the Fujiguan Ryokui course.

〈土曜日ダイヤ〉

フジグラン緑井～広島共立病院コース

Table showing bus routes and departure/arrival times for the Saturday course.

●第2・4土曜日、日・祝日、その他病院休診日の運行はありません。

※交通事情によりダイヤが乱れる場合もございますのでご了承ください。

健診センター

TEL 082-879-1223 FAX 082-879-6891

療養の心配事相談

TEL 082-879-1111(代表) (月)～(金)9時～午後4時30分 広島共立病院

無料法律相談

TEL 082-879-6672 月1回 医療福祉相談室

*上安…喫茶(いくせい)前

*大町…JR大町駐輪場北側

*緑井…フジグラン緑井セブンイレブン前

クロスワード・クイズ



1		2	3	4	5
		6			7
8	9				10
11					
12				13	14
15		16		17	
		18			

新	新
A	G
B	H
C	I
新	J
D	
E	
F	

【問題】ヨコとタテのカギを解いてマスをうめてください。A～Jまで並べると、あることばになります。それは何でしょう。

ヒント：4月から始まります、新しい…

【ヨコのカギ】

- ①「〇〇〇〇〇〇4047」は、武雄温泉と長崎を結ぶ特急列車
- ⑥〇〇〇〇〇〇残る桜も散る桜
- ⑧鉱物質のかたまりで、岩よりも小さく、砂よりも大きい
- ⑩牛乳〇〇、ビール〇〇、魔法〇〇
- ⑪♪お酒はぬるめの爛がいい 肴は〇〇〇〇〇〇〇〇でいい
- ⑫「〇〇海峡」は、水上勉の推理小説を内田吐夢が映画化
- ⑬〇〇前直見、〇〇津和夫、〇〇津一郎
- ⑮ドアに比べて開け放した状態にしやすい、襖や障子、雨戸などのこと
- ⑰肉、魚、野菜などを調味液に漬け込んだ料理名
- ⑱「〇〇〇に仇波」とは、思慮のない者ほど大騒ぎをすること



- ### 【タテのカギ】
- ①新井監督とともに2年目を迎えるカープの1軍ヘッドコーチ
 - ②「〇〇〇〇の夕立に逢うたよう」は、しよんぼりした様のため
 - ③〇〇〇〇〇〇クッションには、円柱型が多く、ホテルのベッドでよく使われる
 - ④それとなく知らせること、ほのめかすこと
 - ⑤宇宙少年〇〇〇〇の相棒は、宇宙リスのチャッピー
 - ⑦♪花咲く娘たちは 花咲く野辺で ひな菊の花の〇〇〇〇〇〇
 - ⑨〇〇〇〇〇〇隊のメンバーは、フックン、モックン、ヤックン
 - ⑭国際原子力事象評価尺度のこと
 - ⑯〇〇クローザー、〇〇ストッパー、〇〇ノブ
 - ⑰年齢の割におとなひびくこと

ハガキに答えと住所名前年齢職業感想、近況を明記しお送りください。正解者には抽せんして図書カードをプレゼントします。

◇宛て先 千七三二一〇二二
広島市安佐南区中須二丁目一九一六
広島医療生活協同組合

◆締切は五月十五日

クイズ二月号の正解は、「オチテハトケルユキヲミテイタ」でした。

正解者は六十八人でした。
当選者
田村みよ子様(山本)
谷本 治行様(亀崎)
井野上博行様(可部東)
松島 圭子様(緑井)
堤 美智様(相田)

クイズ回答 ハガキより 組合員の声

- ◆クイズの答が美しかったので心も暖かくなり、その情景に浸っていました。88才、これからどんどん参加させていただきます。(大町東 M・H. 88才)
- ◆母と主人の介護生活6年、元気に頑張っています。(相田 T・M)
- ◆エンディングノートを作成しないとと思いながら先送りしている毎日です！(八本松 Y・N. 68才)
- ◆私は40年来の花粉症患者!! 昔は今みたいに良い薬がなかったので大変しんどい思いをしましたが、今は早めに薬を飲んで予防できるようになったので大変楽に過しています。(落台南 S・I. 62才)
- ◆「タテのカギ」の中で、手塚治虫さんの「人間は何万年も、明日生きるために今日を生きてきた」が心に留りました。明日を生きようとしても、今日を生かされない人々が世界中に多く居ます。世の中は変わらないと(指導者の考え、行動が)明日の光が消えそうです。ガンバレ! 生物。(西酒屋 S・I. 70才)

お知らせ

地域まるごと健康づくり♪
医療・介護の専門家がアドバイスします

高年齢者
いきいき活動
ポイント対象!
1ポイント

健康教室「脳梗塞について一緒に考えよう」

- 講師：広島共立病院 リハビリテーション科 吉川 正三 医師
- 日時：2024年5月25日(土) 14:00～
- 場所：安佐南区総合福祉センター 6階大会議室 (安佐南区中須1丁目38-13)
- 参加方法：申し込み制(当日参加可能)
- 参加対象：地域住民のみなさま

参加費 無料

地域の皆さまの健康づくりをサポートさせて頂いています。お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております♪

■お申し込み・お問合せ先：広島共立病院 地域連携部
TEL 082-879-1111

2024年度 広島医療生活協同組合 第65回 通常総代会の招集

広島医療生協 理事長 坂本 裕
広島医療生協定款第50条に基づき、第65回通常総代会を開催します。

日時 2024年6月22日(土) 13:00～(予定)

会場 可部公民館8階「ホール」(安佐北区可部3丁目19-22)(予定)

*総代の皆様は日時・場所を確認の上、ご参加お願いいたします。
*諸事情により、変更になる場合があります。ご了承ください。

「声の箱」よい

—広島共立病院利用委員会—

【声】 父が4東病棟(緩和ケア)でお世話になりました。A病院からB病院を経ての転院です。共立病院では24時間面会ができ、かき水器、レンジなど使わせていただき、大変感謝しています。入院していた期間は2～3週間でしたが、私達兄弟や孫達も誰かが毎日面会に来て、父も楽しく会話することが出来ました。父と最後の期間をこのように過ごすことが出来る共立病院の緩和ケアは素晴らしいと思います。看護師さん、医師の先生にもとてもよくして頂きました。本当にありがとうございました。

【回答】 温かいお言葉ありがとうございました。今後ともきめ細やかな対応を心がけて参ります。(病院長)



組合員活動



3/2



＜高陽西支部＞

機関紙配布者交流会

2/21



＜みんなで老後を考える会(かがやく会)＞

神田山荘レクリエーション

2/22



＜中筋支部＞

健康づくりとお楽しみ広場

毎月第4(火)10:00～
ストレッチをした後、手芸や学習会などを行っています♪



1/24



＜川内支部＞

モルック体験会

2/9



＜三次＞

バレンタイン行動
誰もが健康で居心地よくくらするまちづくり
を目指してアピールする行動です



《俳句》

被災地の子供に笑顔ひなあられ
白梅の舞い落つ焔は模様替へ
人様の焔につくしああつくし
車窓より花の名問われ春めける
思ふ事ひとそれぞれの春隣
春の星ひとつ潤めばみな潤む
リハビリや励む姿に春きざす

孫が来るあわてて走るATM
寝むれぬ夜それを受け入れ朝が来る
うるうどし短針二周生き延びし

《川柳・俳句・短歌コーナー》

寺本 東子
野田やよ子
岩田 和子
石塚 節子
吉井美智子
中村 絹枝
桑升 幸子

真野 正子
田原里依子
横地 妙子



健康まつり



入場無料

日にち：2024年5月26日(日) 10時～
場所：広島共立病院 第4駐車場他
内容：ステージ、体験企画、模擬店等

『組合員のひろば』おたより募集

絵手紙・川柳・俳句・短歌など、ジャンルは問いません。また、お気に入りの1枚！子どもさんやお孫さんなどご家族やペット、風景写真や、花・植物・作品などなど。身近な出来事、地域やご家庭の話題など、一言を添えてご応募下さい。

●住所 ●氏名(ペンネームやイニシャルでも可) ●年齢 ●電話番号 ●写真 ●一言

上記をご記入いただきどしどしご応募下さい。メール・FAX・お手紙お待ちしております！

※投稿いただいた文章は、内容を変えずに、表現を変更することがあります。また、いただいた原稿などはお返しできません。ご了承ください。
※本誌は広島医療生協ホームページに掲載されます。(ペンネームでの掲載可)

〒731-0121
広島市安佐南区中須二丁目19-6
広島医療生協 健康まちづくりセンター
機関紙編集委員会 宛
☎(082)879-8124
FAX(082)879-8182
e-mail:kenmati@hiroshimairyu.or.jp



EX-URL